

# エクセルから会計ソフトに



## 仕訳を インポートする メリットと注意点

エクセルから会計ソフトへのデータ取込みは、業務効率化に多大な効果があるだけでなく、様々な便利な使い方も可能です。その方法と注意点を解説します。

木村公認会計士 税理士事務所  
公認会計士・税理士

木村 智 宏

### エクセルから会計ソフトへ データをインポートする利点

仕訳数が少なければ会計ソフトに直接入力してもよいのですが、個々に入力するとそれなりに時間が掛かってしまいます。

また、入力する仕訳数が多くなれば、1つひとつ入力するのは面倒です。

こんなときには、仕訳データを

エクセルで作成してから会計ソフトにインポートする方法をお勧めします。

代表的な会計ソフトであればインポートに対応していますので、少しの工夫で業務の効率化にもつながります。

#### (1) 操作性に優れている

会計ソフトの入力画面は、意外と自由が利きません。入力した仕

訳をコピーしたり編集したりする機能はありますが、操作方法是会計ソフトごとに異なっており、汎用的とはいえません。

この点、エクセルであれば、入力しやすい形で自由に入力することができ、操作方法も汎用的で、普段使っているショートカットキーや数式をそのまま活用できる点で会計ソフトよりも操作性に優れています。

たとえば、給与や借入金返済など毎月発生する定型的・反復的な仕訳を入力する場合、エクセルであれば1件入力すれば、後はコピーや数式を用いることで、簡単に作成することができます。

また、科目をまとめて別科目に変更したり、補助科目や税区分を変更したりする場合、エクセルであれば検索や置換の機能により、瞬時に修正することが可能です。

#### (2) 柔軟性に優れている

現金出納帳や交通費などをエクセルで管理している場合や、売上管理システム、ネットバンキング、レジデータなど、システムから出力されるデータ資料がある場合も、エクセルを活用するメリットがあります。

会計ソフトの場合、システム間で直接連携する一部のサービスを除けば、そのデータをもう一度会計ソフトに入力することになり、二度手間となってしまいます。またレジデータなど膨大な量を個々に入力するのは非現実的です。

この点、エクセルであれば、どんな形式のデータであっても、別のエクセルにまとめて会計ソフトにインポートすることができ、柔軟性に優れています。

膨大なデータ量であったとしても、数式などをうまく活用して加工すれば時間も要しません。また、すでにあるデータを加工するだけであれば入力自体が不要なため、転記ミスや入力ミスも生じません。

#### (3) 応用性に優れている

エクセルでインポートする方法を応用すれば、たとえば会計ソフトを変更する場合に、旧会計ソフトのデータをエクスポートして加工し、新会計ソフトにインポートすることで、同一環境を構築することが容易です。

そのほかにも、利用している会計ソフトに左右されずに活用できる場面が多々あります。

## インポートする際の 手順とは

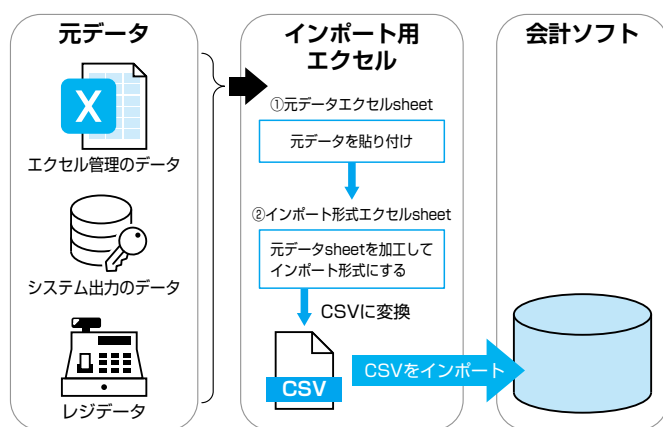
どの会計ソフトでも、基本的には次の3ステップによりインポートすることになります(図表1)。

### (1) インポートするためのエクセルデータを作成する

インポートするためには、会計ソフトの指定する項目と形式を遵守する必要があります。

項目や形式は会計ソフトごとに異なるので、それぞれに適応した

図表1 エクセルから会計ソフトへインポートする全体像



図表2 インポート用のエクセルデータの作成

#### ① 元データエクセルsheet (例: 販売データを貼付)

売上日	伝票番号	顧客コード	顧客名	商品コード	商品名	金額
2020/1/1	10001	905506	株ABC商事	316271	〇〇	745,003
2020/1/5	10002	590533	株△△食品	814294	△△	306,377
2020/1/10	10003	660355	株◇◇学園	321076	◇◇	119,640
2020/1/11	10004	558143	株▽▽建設	795555	▽▽	441,276
2020/1/15	10005	139182	株□□電気	403855	□□	673,183
2020/1/20	10006	79302	株○△工業	303095	○△	925,270
2020/1/21	10007	82112	株□△薬品	526855	□△	581,410
2020/1/25	10008	268340	株◇○産業	280844	◇○	664,899

#### ② インポート形式エクセルsheet

日付	借方勘定科目	借方補助科目	借方金額	貸方勘定科目
2020/1/1	売掛金	株ABC商事	745,003	売上高
2020/1/5	売掛金	株△△食品	306,377	売上高
2020/1/10	売掛金	株◇◇学園	119,640	売上高
2020/1/11	売掛金	株▽▽建設	441,276	売上高
2020/1/15	売掛金	株□□電気	673,183	売上高
2020/1/20	売掛金	株○△工業	925,270	売上高
2020/1/21	売掛金	株□△薬品	581,410	売上高
2020/1/25	売掛金	株◇○産業	664,899	売上高

アイテムの形式は、項目の区切りが必要な場合があります。そのため、エクセルファイルセルファイル(xls・xlsx)、テキストファイル(txt)、CSVファイル(csv)と指定する会計ソフトも異なりますが、CSVファイルも拡張子が異なるだけで中身は同じテキストファイルのため、代替できます。

方法で作成することになります。たとえば、インポートデータの項目と形式について、A列(識別フラグ)・Y列(調整)までの25列ごとに、それぞれ項目と形式が定められていることがあります。

また、ほかで作成したエクセルデータがあれば、インポート用のエクセル形式に、数式で連動させるなどして加工すれば効率的です(図表2)。

### (2) 指定する形式で保存する

会計ソフトにインポートするフ

なぜなら、CSVファイルは、セル単位で入力すれば自動的にカンマで区切られたデータ形式となるため、カンマ自体を入力する必要がないからです。

またCSVは、エクセルで開くことも可能なため、入力・編集も自由に行なうことができます。すでにエクセルファイル形式のデータがあれば、「名前を付けて保存」で、保存するときのファイルの種類をCSV(カンマ区切り)と選択すればCSVファイルとして保存することもできます。

### (3) 会計ソフトにインポートする

会計ソフトのなかにはエクセルのままインポートできるものもありますが、一般的には、CSVファイルに対応している会計ソフトが多いです。

またテキストファイル(txt)を指定する会計ソフトもあります。CSVファイルも拡張子が異なるだけで中身は同じテキストファイルのため、代替できます。

## インポートする際の 注意点

### (1) 会計ソフトのルールを守る

せっかく作成したインポートデ

シートも、たった1つのセルが間違っているだけで会計ソフトにインポートすることができません。

インポートできない原因のひとつは、作成したファイルのどこかが間違っていることです。

そのため、エラーとなりやすいポイントをあらかじめ知っておくことが大切です。

## (2) インポートエラーになりやすいポイント

### ① 日付の書式が異なる

エクセルの日付データの書式を設定しないまま数式で参照したり、他シートから値貼り付けしたりすると、日付がシリアル値(数字の羅列)となってしまうため、インポートエラーとなります。

たとえば、データ上は「2020年1月1日」となっているにも、日付データの書式を設定しないままにすると「43831」となってしまう。

どの会計ソフトでも日付は必須の項目となっていますので、日付の列をソートしてチェックするとよいでしょう。

### ② 不要な列の見出しがある

エクセル作成時には見出しがあったほうがわかりやすいですが、

会計ソフトによっては、インポート時に列の見出しが必要な場合と不要な場合があります。

会計ソフトの仕様に合わせて、不要な列の見出しは事前に削除しておく必要があります。

③ 必須項目が入力されていない  
データのなかには、入力が必要となる項目があります。

この項目の入力が漏れているとエラーとなります。他データからのコピー漏れや数式の漏れにより起こります。

そのため、必須項目となっている列をソートして漏れがないかチェックするとよいでしょう。

### ④ 空白のデータが残っている

通常、インポートするデータに不要なデータがある場合には削除しておく必要がありますが、空白のデータが残ってしまうことがあります。特に、インポート用のエクセルを毎月使いまわしているような場合に起こりがちです。

たとえば、前月の取引数が100件、当月の取引数が80件あった場合、当月のインポート用のエクセルには、20行の不要な行が残ってしまいますが、これをそのまま保存してインポートしようとするとエラーとなってしまいます。

インポート用のエクセルを毎月使いまわしているような場合には、不要な行が残っていないかチェックしておきましょう。

### ⑤ 未設定の勘定科目・補助科目等がある

インポートデータに会計ソフトで設定されていない科目が含まれていると、エラーとなる場合があります。会計ソフトによっては、インポート時に既存の勘定科目へ変換できる機能もありますが、独自の科目や補助科目などを登録したい場合には、インポート前に事前に会計ソフトで登録しておく必要があります。

### ⑥ 会計期間外のデータがある

会計ソフトの会計期間外のデータをインポートしようとすると、エラーとなります。

たとえば、会計期間が2019年4月1日～2020年3月31日の場合に、2020年に前年の日付「2019年4月1日」を「4/1」と入力すると、エクセルの日付の「年」は、入力した時の「年」になってしまうため、「2020/4/1」と自動で変換されてしまいます。

そのため、すべてのデータを加工し終わってから置換するか、日

付の列をソートして会計期間外のものがいないかチェックするとよいでしょう。

### ⑦ インポートファイルを開いたままにしている

インポート時に対象となるデータを開いたままにしていると、エラーとなる場合があります。

### ⑧ その他

インポートするデータにパスワードがかかっていたり、インポートするデータ量が一定以上になっていたりとインポートエラーとなる場合があります。

### (3) インポート後の検証

インポートが無事に完了したからといって、これで終了ではありません。インポート後は、正しく会計ソフトに反映されているのか確認することが肝要です。

これは、仮にデータが重複していたとしても、ファイル自体が正しい形式になってさえいれば、そのままインポートされてしまうからです。そのため、インポート前にインポートデータの金額を関数などを使って集計したうえで、インポート後の会計ソフトの金額と一致しているかを、必ず確認しておきましょう。